

# 国語)動詞の活用②

ホ

- ① 動詞を活用させたとき、  
部分を語幹といい、
- ② 部分を活用語尾という。

③ 次の表を完成させよう。

語幹 ④ 未 ⑤ 用 ⑥ 終 ⑦ 体 ⑧ 仮 ⑨ 命

話す はなす  
話す はなす

落ちる ち  
落ちる ちる  
ちる ちる  
ちる ちよ

書く かく  
書く かく

続<sup>キ</sup>方  
う<sup>ハ</sup>い<sup>マ</sup>ます ×  
た<sup>キ</sup>ます ×  
こ<sup>ト</sup>き<sup>バ</sup> ×  
こ<sup>ト</sup>き<sup>バ</sup> ×

また、連用形が「たて」などに続くときもとの行にはない音になることがある。こゆを音便形といい、「書いた」などの③ 音便、「行った」などの④ 音便、「読んだ」などの⑤ 音便の二つの種類がある。